

筑波大学
先史学・考古学研究

第 31 号

常木晃先生退職記念号

筑波大学人文社会科学研究科
歴史・人類学専攻

2020

筑波大学 先史学・考古学研究

第 31 号

2020 年 3 月

目 次

口絵

- 棚畑遺跡出土磨製石斧…………… 平澤 愛里
坪井上遺跡出土ヒスイ製大珠…………… 村串 まどか

論文

- 縄文時代中期における磨製石斧の特徴
—棚畑遺跡における出土資料の分析を中心に—…………… 平澤 愛里 1
- 伊豆凝灰岩製家形石棺からみた古墳時代の石材加工技術…………… 大村 陸 21
- アルメニア・アラガツ山南西麓地域のカイトサイト群に関する一考察… 大沼 柊平 47

研究ノート

- 坪井上遺跡・ヒスイ製大珠の蛍光 X 線分析 …………… 村串 まどか 71

調査研究報告

- つくば市甲山古墳の研究—考察編— …………… 筑波大学甲山古墳研究グループ 77
- 常木 晃先生のご退職にあたって…………… 滝沢 誠 109
- 常木 晃先生 略年譜・著作目録…………… 112
- 研究活動報告 …………… 118
- 規約・執筆要項 …………… 123

編集後記

今号は、筑波大学で30年以上にわたり研究・教育を続けられてきた常木晃先生のご退職記念号としました。思えば、常木先生が講師として筑波大学に着任されたのは1992年、私が筑波大学第一学群人文学類に入学した年です。以来、常木先生の研究に触発され、私自身も西アジアの考古学を研究する道を歩んできました。出会いの大切さを実感するとともに、多くの後学に研究の道を開いてくださった常木先生の偉大さにあらためて敬服するばかりです。

研究業績の数値化が重視されるなか、数値評価に反映されない紀要論文の価値が問われています。しかしながら、若い世代にとっての研究発表の場として、また投稿から出版までの期間が短い速報性のある媒体として、紀要ならではの価値を蔑ろにはいけないと考えます。今号も、大学院生の大村さん、大沼さんによる論考、ポスドクの村申さんによる論考、昨年度卒業生の平澤さんによる論考と、紀要ならではの意義あるラインナップを実現できたと思います。また、調査研究報告として、大学院生の荒井さんを中心に「つくば市甲山古墳の研究」がまとめられました。甲山古墳の研究は、昨年度刊行の本誌第30号に掲載した「調査報告編」で大変好評をいただいております。今号の「考察編」も合わせて通読いただければと思います。

なお、今号の編集作業は、荒井啓汰さんおよび大村陸さんの尽力により首尾良く進捗し、期日通りの刊行を迎えることができました。記して感謝いたします。

(O.M.)

筑波大学 先史学・考古学研究 第31号

2020年3月 発行

編集 筑波大学 先史学・考古学研究編集委員会
(荒井啓汰, 大村陸, 前田修)

発行 筑波大学人文社会科学部 歴史・人類学専攻
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1

連絡先 前田研究室
TEL 029-853-4034
E-mail tap1973@hotmail.co.jp

印刷 松枝印刷 株式会社
〒303-0034 茨城県常総市水海道天満町 2438
TEL 0297-23-2333

TSUKUBA ARCHAEOLOGICAL STUDIES

No. 31

March 2020

CONTENTS

Frontispiece

- The polished stone axes from Tanabatake site, Nagano HIRASAWA, Airi
Jomon Jade excavated from Tsuboiue site MURAKUSHI, Madoka

Article

- Property of polished stone axes in the middle Jomon periods:
a case study at the Tanabatake site in Chino, Nagano
HIRASAWA, Airi 1
- Stone processing technique in Kofun period from the viewpoint of
house-shaped stone coffin made of Izu Tuff
OMURA, Riku 21
- Kite sites at the southwestern foot of Mount Aragats, Armenia
ONUMA, Syuhei 47

Current Researches

- X-ray fluorescence analysis on Jomon Jade excavated from Tsuboiue site
MURAKUSHI, Madoka 71

Field Reports

- The study of Kabutoyama Tumulus, Tsukuba vol. 2
The research group for Kabutoyama Tumuls 77
- A Farewell Address to Professor Tsuneki Akira
TAKIZAWA, Makoto 109
- Personal History and Bibliography of Professor Tsuneki Akira 112
- Department Activities and Publications in 2019 118